

令和2年度事業報告

I 概要

公益目的事業として下記のとおり4事業を実施しました。

1 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

2 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

3 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

4 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

II 各事業の実施状況

1 県民への広報事業【公益目的事業1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

(1) 啓発イベント等による広報

①臓器移植普及推進月間（10月）グリーンリボンキャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、ポスター等の配布、市町の展示コーナー、グリーンライトアップ等により臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及広報に努めました。

a) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス対策のため、すべて中止した。

b) 懸垂幕による広報

場 所 佐賀市役所、嬉野市塩田庁舎及び佐賀県庁旧館

期 間 佐賀市役所 10月 6日～10月31日

嬉野市塩田庁舎 10月 7日～10月15日

佐賀県庁旧館 10月16日～10月31日

内 容 懸垂幕〔「あなたの意思で救える命があります。臓器提供意思表示にご協力を」
佐賀県・佐賀県臓器バンク・日本臓器移植ネットワーク〕

c) グリーンライトアップによる広報

場 所 佐賀メディカルセンタービル

期 間 10月15日～10月18日

d) ポスターによる広報

内 容 移植医療への理解を呼びかける AC ジャパン支援ポスター約1,700枚を配布

配布先 医療機関、市町、学校、警察署、運転免許試験場、自動車学校等

e) デジタルサイネージ

佐賀県庁、佐賀市庁舎、鳥栖市役所、武雄市役所、多久市役所、佐賀県医療センター好生館、佐賀メディカルセンタービル、今村病院の県内8カ所を実施した。

f) 移植を受けた子どもたちの作品展

佐賀県臓器バンク及び佐賀県の主催で、県内4カ所を実施した。

場 所	鹿島市生涯学習センター エイブル
期 間	10月 7日(水)～10月16日(金)
場 所	佐賀メディカルセンタービル1階
期 間	10月12日(月)～10月16日(金)
場 所	佐賀市立図書館2階ロビーギャラリー
期 間	10月20日(火)～10月27日(火)
場 所	佐賀県庁1階県民ホール
期 間	10月27日(火)～10月29日(木)

②世界腎臓デー(3月第2木曜日)におけるキャンペーン

新型コロナウイルス対策のため、中止した。

(2) 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

① 県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、例年、県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、県民を対象にパネルの展示、臓器移植意思表示カード、リーフレットの配布により、広報を行ってきましたが、本年度は、新型コロナウイルスの影響で県内のイベントの中止が続き、実施が限られました。

実施会場 佐賀市大和中央公園花しょうぶ園(5月30日)

② 成人式会場における広報

成人式への参加者に対して、臓器提供意思表示カード普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 20 市町

送付数 8, 000 部

(3) 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口に臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 累計 約800カ所

(4) 出前講座

各種団体の会合や学校での命の教育等の機会で、要請に応じて、臓器移植コーディネーター等による講座、学習会を行いました。

- ・医療福祉専門学校緑生館 総合看護学科 (12月22日) 40名
- ・佐賀市医師会立看護専門学校 (1月6日・1月7日) 71名
- ・鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校 (3月2日) 18名

《県民への広報事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動等に対する助成

2 移植医療体制整備等事業【公益目的事業1】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠です。当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、各医療機関内での勉強会、県内の移植医療関係者を対象にオンラインでの連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植を行う場合には、摘出された臓器の搬送を限られた時間内に的確に搬送する必要があるため、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港、緊急時での活用が想定される防災ヘリコプターの管理者等と、連絡体制や連絡方法、臓器搬送時に必要な配慮などについて予めマニュアル化し、担当者等の交代時には随時確認するなど対応力の維持に取り組みました。

(1) 院内移植コーディネーターの配置

臓器提供の可能性が高い救急指定病院（消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院）等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーター

ターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

・令和2年度委嘱者数(施設数) 53名(10施設)

佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、河畔病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、やよいがおか鹿毛病院、新武雄病院、今村病院

・報酬等 なし

(2) 院内移植医療勉強会の開催

臓器移植に関する制度や対応の仕方について、臓器提供が少ない現状では、通常の臨床においては経験、学習する機会が少ないため、各医療機関で臓器提供・臓器移植に的確に対応するためには、臓器移植に関する研修を通じて情報・知識を習得し、各医療機関内での組織的な役割分担や協力体制を確立する必要があります。

また、臓器提供者の尊い提供意思を看過することなく、臓器移植に生かしていくために、臓器提供側の医療機関において、終末期に至った患者の最後の選択としての臓器提供の意思(提供者本人の臓器提供意思表示の有無、家族等の同意)を確認したり、医療機関スタッフが(臓器の提供時期が不確定のため)長時間にわたって待機を要する等の大きな負担を克服するには臓器移植への深い理解が必要です。

このため、当財団の臓器移植コーディネーターが研修内容の企画や講師の選定・依頼等の支援を行い、臓器移植に関する法制度や体制づくり等についての学習等の研修を実施しました。(下記の他、独自の施設内研修会等も開催されました。)

① 嬉野医療センター

◇院内研修会

日 時 令和2年9月25日(金)

場 所 嬉野医療センター

内 容 脳死下臓器提供シミュレーション

参加者 34名

講 師 日本臓器移植ネットワーク 塚本コーディネーター

(3) 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

① 佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 令和2年度第1回会議

日 時 令和2年10月22日(木) 15:00~17:00

オンライン(ZOOM活用)による研修

参加者 県内院内移植コーディネーター設置病院職員、救命救急センター及び救急告示
病院職員、移植医療関係者
内 容 「コロナ禍の状況で脳死下臓器提供を経験して」
講 師 沖縄県浦添総合病院
集中治療・重症管理部長 那須道高先生
ICU 看護師長 古謝真紀先生
主 催 佐賀県・日本臓器移植ネットワーク・佐賀県臓器バンク

② 院内コーディネーター研修会の開催

研修会 第1回院内コーディネーター研修会
日 時 令和3年1月14日（木）15：00～16：00
オンライン(ZOOM活用)による研修
参加者 事務担当者及び移植医療関係者
研修①
内 容 「心停止下・脳死下臓器提供発生時の事務担当者の役割と費用配分について」
講 師 佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木コーディネーター
研修②
内 容 「臓器提供発生時の事務担当者の実際」
講 師 熊本赤十字病院総務課 院内コーディネーター 松尾剛典先生

研修会 第2回院内コーディネーター研修会
日 時 令和3年2月22日（月）15：00～16：00
オンライン(ZOOM活用)による研修
参加者 手術室担当看護師、移植医療関係者
研修①
内 容 「手術室担当看護師の役割について(心停止臓器提供)」
講 師 佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木コーディネーター
研修②
内 容 「脳死下臓器提供における手術室対応について」
講 師 日本臓器移植コーディネーター 小林コーディネーター
研修③
内 容 「手術室担当看護師の実際について」
講 師 長崎大学病院 手術部看護師 平山幸子先生

(4) 臓器搬送体制の確保

臓器搬送への協力が必要な警察、消防、空港等の関係機関の組織や担当者の異動に伴う連絡網の修正、道路規制、空港管理の変更や緊急車両の運用方法の変更等の他、交通事情の変化等に伴う搬送マニュアルの見直し等を行うなど、着実、迅速な臓器搬送ができるよう佐賀県警察本部担当者及び佐賀県佐賀空港事務所担当者等の協力機関連絡会議を開催し、臓器提

供者発生時の検視、臓器搬送に関する連絡方法について、マニュアル等の内容の確認等を行いました。

特に、令和2年度末から佐賀県防災ヘリの運用が開始されるため、防災ヘリが臓器搬送をする場合の考え方、臓器搬送要請の優先順位、要請のフロー、必要な様式、費用負担等についての打合せを行ってマニュアルの検討・確認を行った。

・臓器提供発生時の協力機関連絡会議

日時 令和2年7月13日(月) 15:00～16:00

場所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 研修室

参加機関 佐賀県危機管理防災課、佐賀空港事務所、警察本部地域課、同捜査一課、
日本臓器移植ネットワーク、佐賀県健康増進課、佐賀県臓器バンク

・防災ヘリの運行に伴う打合せ(8月4日、10月19日、12月15日)

《移植医療体制整備等事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

3 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望の登録の際の本人の負担を軽減するため、手続きの支援や費用の助成を行いました。

(1) 臓器移植希望者への情報提供

10件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

(2) 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査(HLA検査)に要する費用を助成しました。

助成者数:10名、助成額:246,000円

《臓器移植希望者支援事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

4 臓器提供者フォロー事業【公益目的事業1】

佐賀大学医学部附属病院において、9月に臓器提供された方の家族に対して佐賀県臓器バンク理事長からの感謝状を厚生労働大臣感謝状と共に贈りました。(肺、肝臓、すい腎同時、腎臓)

《臓器提供者フォロー事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金